

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、14～18℃台を示し、かなり低め～やや低めの水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり17トンの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり3トンの水揚げ前週の3倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり13トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり11トンの水揚げ（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり151kgの水揚げで、前週6倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり2.4トンの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。
- 定置網――五島有川地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり148kgの水揚げ。五島魚目地区では、ソウダガツオなどが1日1統当たり150kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヤリイカなどが1日1統当たり86kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり120kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ブリが1日当たり129kgの水揚げで、前週の2.7倍（前年並み）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（1/14～1/19の6日間）沖合イカ釣（船凍船）は、能登半島沖で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～能登半島沖～佐渡沖～酒田沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）4日延28隻、総計1,891箱、1航海最高139箱、平均67.5箱。  
スルメイカ（20～30入）1,334箱、ヤリイカ（20～25入）557箱の混獲となった。  
（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況通信「第3-3号 対馬・壱岐海区のスルメイカ漁況予報」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>